

2019年9月20日

DIC株式会社

〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20

ディーアイシービル

DIC サステナビリティ活動のベンチマーク 「ダウ ジョーンズ サステナビリティ インデックス アジアパシフィック」 (DJSI AP) の構成銘柄に5年連続で採用

DIC株式会社（本社：東京都中央区、社長執行役員：猪野薫）は、グローバルなサステナビリティのベンチマークである「ダウ ジョーンズ サステナビリティ インデックス アジアパシフィック」（以下、DJSI AP）の構成銘柄に5年連続で採用されました。同インデックスは、「持続的に成長する企業」を選出し ESG 投資の評価指標として、世界の投資家からますます重要視されています。



DJSI AP は、米国・ダウジョーンズ社と調査機関であるスイス・ロベコ SAM 社が共同で開発した「ダウ ジョーンズ サステナビリティ インデックス」シリーズの一つです。アジアパシフィック地域の対象となる主要企業約 600 社が、サステナビリティの視点で経済、環境、社会の三側面を評価され、今年度は全体で 148 社、素材産業からは当社を含む 14 社（内、化学セクターからは 8 社）が採用されました。

当社は、同社の調査において、研究開発などのイノベーションマネジメントや、プロダクトスチュワードシップ、税務戦略など幅広い項目で高い評価を獲得しました。加えて、本年5月に金融安定理事会（FSB）によって設立された「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言へ賛同を表明したことなども評価されました。

DICグループは、中期経営計画「DIC111」において、サステナビリティや市場への貢献を追求する「社会的価値」と企業の成長と収益性に寄与する「経済的価値」を両立し、“ユニークで社会から信頼されるグローバル企業”を目指す企業像としています。今後も引き続きサステナブルな社会の実現に貢献するため、ESGに関する社会の要請を的確に把握し、ステークホルダー（顧客、取引先、地域社会、株主・投資家、社員など）から期待される価値の提供に努めていく所存です。

以上

【関連ニュースリリース】

- 「SNAM サステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に4年連続で選定（2019年7月）
http://www.dic-global.com/ja/release/2019/20190702_01.html
- 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同とTCFDコンソーシアムへの参画（2019年5月）
http://www.dic-global.com/ja/release/2019/20190529_01.html
- 世界的に代表されるESG投資指標「FTSE4Good Index」および「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初選定（2019年2月）
http://www.dic-global.com/ja/release/2019/20190204_01.html
- スイスの投資大手RobecoSAM社発行のレポートに掲載（2019年2月）
http://www.dic-global.com/ja/release/2019/20190225_01.html